

県港湾空港課

2月2日から提案受付

小川原港つ洋上風力発電事業

県港湾空港課は、むつ小川原港における洋上風力発電に係る事業を募集するため公告した。企画提案の申請期間は2月2日から2月20日まで。

航行等への影響及び景観等を配慮した上で適切に提案することとする。必須事項 ①港湾計画等との共生②港湾の開発、利用又は保全

この限りではない。○公募に係る手続等 担当部局 青森県国土整備部港湾空港課

所、附帯工N11式 施行地 常盤野地内 工期 3月27日

○当該工事に掲げる主任技術者又は監理技術者を工事現場に配置すること

外国人にプレゼン

＝理研興業＝ 防雪柵の新技术など

ヨンや風洞実験の視察を行った。この研修は、インフラ整備が援助重点分野として挙げられている

研修はアゼルバイジャン、キルギス、モルドバ、タジキスタン、ウクライナから、それぞれ交通省・運輸情報省・道路交通インフラ省等の、道路に精通する立場の人々が参加。

プレゼンテーションが行われた。新技术プレゼンテーションで紹介されたのは計3技術。融雪機能付吹風機(両面受光型太陽電池とファブリックヒーターを使用)

柴尾社長は「今後も日本国内はもちろんのこと、ロシアやヨーロッパ、アジアなど、他国から関係者を招いての風洞実験視察を積極的に行い、日本の最先端防雪技術を海外へも発信していきたい」と想いを語った。

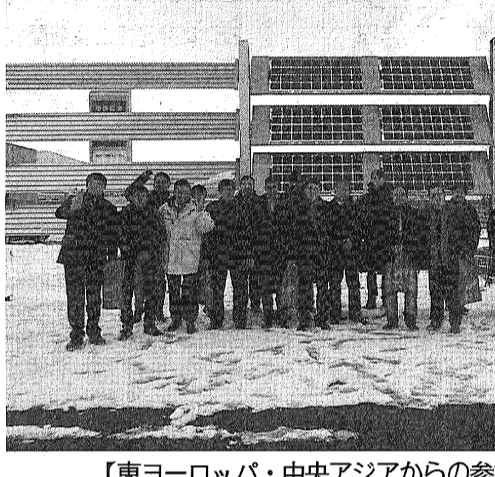
事業規模 総出力は1万キロワット以上の規模とし、導入の規模(風車の定格出力及び基数)及び各施設の設定場所は、周辺海域における船舶航行等への影響及び景観等を配慮した上で適切に提案することとする。

防雪柵の国内トップメーカーである理研興業株式会社(本社・北す区(約1000ha)は、このほど、JICA(独立行政法人国際協力機構)主催による研修の一環として、東ヨーロッパ・中央アジアの国々から関係者を招き、防雪柵の新技术プレゼンテーションを行った。

防雪柵による視線誘導方法(防雪柵に高輝度SMDを用いたライン状に発光した光の連続照明による視線誘導方法)、高性能防雪柵など、国内でも最先端の防雪技術に各国代表から感嘆の声が上がっていた。

注見通し(1月現在)を公表した。それによると、水道事業分の十二林区配水管切廻し工事一件を1月13日に入札するとしている。

観測システム更新 入札執行を中止 県産業技術センター 地方独立行政法人・青森県産業技術センターは7日、陸奥湾海況自動観測システム更新(基地局を除く)工事



【東ヨーロッパ・中央アジアからの参加者】

排水工など公告 15日まで2件受付

弘前市上下水道部は、弘前市下水処理場雨水沈殿池排水工事を

施行地 常盤野地内 工期 3月27日 入札書の到着期限 1月27日必着

○市内に本店を有し、市の平成26年度建設工事指名競争入札参加資格者名簿において、土木一式工事A等級に格付けされていること

発注見通し公表 13日に1件入札

むつ市公営企業局は、平成26年度工事発注見通し(1月現在)を公表した。それによると、水道事業分の十二林区配水管切廻し

観測システム更新 入札執行を中止

を条件付き一般競争入札で実施する予定であったが、諸事情により中止した。今後、再公告する予定である。